

# 希望の鐘の音



《大槌病院基本理念》

2018・秋号

患者さんのために 地域のために

良質な医療の提供と地域医療の活性化を目指します



## ☆☆☆『なくてはならない病院』で あり続けるために☆☆☆

早いもので今年もあと3ヶ月を残すのみとなりました。

大槌まつりでの「曳き船」が震災以降初めて開催されるなど、町が、そして地域が着実に前進していることを改めて実感いたします。

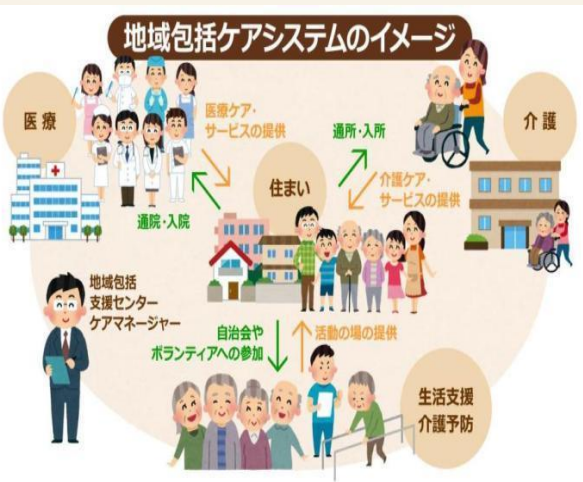
さて、大槌町の人口は今後も減少の傾向にあると言われ、2040年には8千人を切るという見通しもあります。しかしながら75才以上の方の減少は緩徐なため、相対的に高齢者の割合は上昇すると見込まれています。そしてこれはこの地域に限らず日本全体の問題です。

そこで国は今後の地域の在り方として「地域包括ケアシステム」を、医療の在り方として「地域医療構想」を提唱しています。



病院長 坂下 伸夫

このうち地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしさと尊厳を保ちながら人生の最後まで暮らしていけるよう支えていくため、地域包括支援センターやケアマネジャーが適切にコーディネートしながら医療・介護を提供していくものであり、当院もこのシステムの中で主に回復期医療を担当し、病院と自宅・介護施設の間での橋渡し役を担っていますが、この役割をより明確にし、急性期病院では対応が難しい亜急性期・回復期・軽症患者やレスパイト入院の患者を受け入れるため、9月から地域包括ケア病床の運用を開始し、いよいよ10月から本格的に稼働します。



詳細は本誌特集をご覧くださいと思いますが、この病床は平均在院日数の要件はなく、最長60日間の入院が可能であるなど、一般病床と比較し、より在宅復帰に向けた働きかけがしやすくなりますが、一方で在宅復帰率やリハビリテーション提供の条件があるなど、適切に運用していくためにはみなさんのご理解とご協力が不可欠となりますのでよろしくお願いいたします。

このベッドの活用により地域包括ケアシステムの一翼を担うことができます。当院が担うべき役割をしっかりと果たし、この地域になくてはならない病院でありたいと思います。

# ☆☆☆地域包括ケア病床のご案内☆☆☆



当院では、平成30年10月より急性期病床と在宅とをつなぐ「地域包括ケア病床」を開設(25床)いたしました。

「在宅での療養に不安」「もう少し入院治療すれば社会復帰できる」「施設への転院がすぐにできない」などの患者さんのために安心して退院していただけるよう支援していきます。



副院長兼地域医療福祉連携室長  
黒田 継久

## ◇地域包括ケア病床とは

急性期治療を終了し症状が改善した患者さん、すぐにご自宅や施設へ退院するには不安のある患者さんに対して、在宅復帰に向けての準備を目的とした医療の提供や支援を行う病床で、

●在宅に復帰予定で、入院治療により症状が改善・安定した後、もう少し経過観察が必要な方

●在宅復帰に向けた生活支援、在宅での療養準備が必要な方

●在宅復帰に向けもう少しリハビリが必要な方

●在宅で療養中に介護者の休養のための一時的入院が入院の対象となります。

地域包括ケア病床の入院日数は保険診療で最長60日までと規定されており、入院された患者さんには、在宅復帰をスムーズに行うため「在宅復帰支援計画書」を作成し、これに基づいて主治医、看護師、リハビリ職員、在宅復帰支援担当者（退院調整看護師）などが協力してまいります。

## 地域包括ケア病床入退院のイメージ



※在宅とは：自宅及び居住系介護施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅、ケアハウス、グループホーム、軽費老人ホーム）の総称

## ◇入院費等について

■1日あたりの入院料は定額制（地域包括ケア病棟入院料）とされており、お薬や注射、簡単な処置・検査は一部を除き定額に含まれています。（食事代、個室利用料、おむつ等保険診療対象外は別途となります。）

なお、高額療養費制度が適用になりますので、月の医療費の自己負担上限額は、一般病床の場合と変わりありません。

■一般的な血液検査、レントゲン検査、投薬治療は可能ですが、一般病床で行うような特殊な検査等の急性期医療には対応できません。

■病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病床に移動いただくことがあります。

# ☆☆☆外来診療のご案内☆☆☆



	診療科 (受付時間)	月	火	水	木	金
午 前	内 科	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木 高橋(第1/3/5)	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木	岩 田 黒 田 佐々木
	外 科 (~11:00)	坂 下	坂 下	坂 下 (~10:30)	坂 下	
	整形外科 (~10:00)	室岡(隔週)	※緑文字は診療 応援の医師です			
	皮膚科 (~10:00)	堀内(第4)			中央病院 (第2)	
	眼 科 (~10:30)					岩手医大
午 後	整形外科	沼田(月1) 釜石病院 (月1)				
	皮膚科				中央病院 (第2)	

※受付時間 午前：8時30分～11時30分  
午後：13時～16時

※診療予約制となっております。予約外の方は診療順が前後する場合がございます。  
※当院は岩手県立中部病院及び岩手県立釜石病院の臨床研修協力施設となっております。  
臨床研修医が外来診療を担当する場合がございます。  
※各日の整形外科の担当医はお問い合わせください。

平成30年度 岩手県立大槌病院

\*参加無料

第6回

## 糖 尿 病 教 室

～病気の発症と増悪を防ごう～



【今回の内容】 テーマ「合併症①血管・神経」

●血糖が高いと心筋梗塞・脳梗塞になりやすい  
って本当ですか？

内科医師：黒田 継久

●フットケア

副総看護師長：三浦 昭子

みなさまの地域や職場  
に出向き講演を行う  
「出前健康講座」もお  
受けしています。



日時：平成30年10月11日(木) 8時45分～9時15分

場所：岩手県立大槌病院 3階 デイルーム(食堂)

大槌町小槌23地割字寺野1-1 TEL : 0193-42-2121





# ペットボトルのふたを開けられますか？ ～ 「サルコペニア」かも！ ～

主任理学療法士 小國 忍



みなさん、ペットボトルのフタを簡単に開けることができますか？

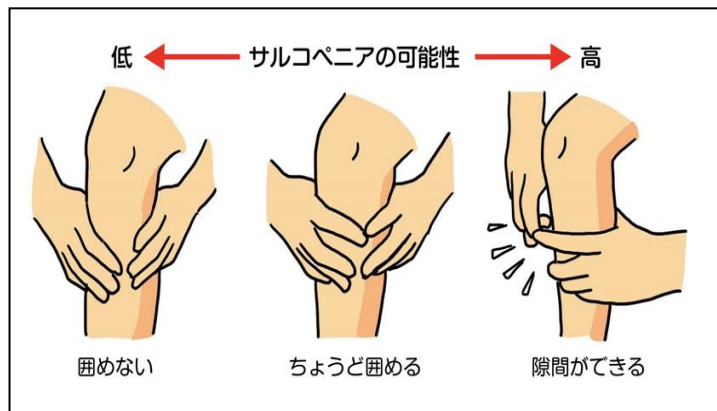
簡単に開けることができなかつた人は“サルコペニア”の状態かもしれません。サルコペニアとは「加齢性筋肉減少症」とも言いますが、単に筋肉量の減少だけでなく、筋力と身体機能も低下した状態を示します。

診断には歩行速度や握力、筋肉量などの測定が必要となりますが、日常生活においては、

- 横断歩道を青信号で渡りきれなくなった
- 手すりにつかまらなると階段が上がれない
- ペットボトルのフタが開けにくくなった
- 家に閉じこもりがちになった

など、以前は簡単にできていたことが、だんだん難しくなっていると感じている方は、サルコペニアの状態にあるかもしれません。

サルコペニアを簡単にチェックできる方法として“指わかテスト”というものがあります。ふくらはぎの一番太い部分を両手の親指と人さし指で囲んでみて、指がくっついたり、隙間が出来る場合にはサルコペニアの心配があります。



サルコペニアを予防あるいは重症化させないためには、適度な運動と栄養が大切とされています。外来待合スペースには、シルバーリハビリ体操という自宅でできる運動のパンフレットも準備していますのでご活用ください。

うだるような暑さも一段落し、身体の動かすにはちょうど良い季節になってきました。健康的に生活できる期間が延びてくるよう、紅葉を見ながら外をゆっくり歩いてみたり、イスに腰掛け、テレビを見ながら軽く運動してみるなど、ご自身のペースに合わせて運動することをお勧めします。

## 100円ショップでみつけた 便利グッズのご紹介

ペットボトルのフタや缶ジュースのプルトップを簡単に開けるための商品のようです。

なかなかキャップを開けられない高齢の方、小さなお子さん、また爪を保護したい女性などは、あると便利かもしれないですね。



ペットボトル



缶ジュース

# ☆☆☆ルーDE部門紹介☆☆☆ ～医療クラーク～



～医師をサポートすることが  
患者さんのサポートにつながりますように～

医療クラーク 阿部 亜紗美

「医療クラーク」って聞き慣れない言葉かと思いますが、多忙を極めている（ホントにびっくりするくらい多岐にわたっています）医師の業務負担を軽減し、診療に専念できるよう設けられた職種の名称で、当院では平成20年から配置され、現在は4名の医療クラークが常勤の先生方をはじめ、整形外科、皮膚科の応援の先生方が円滑な診療を行えるようサポートしています。

## 私たちの主な業務をご紹介します

### ●電子カルテの入力代行

電子カルテは患者さんの診療情報を確認しながら診察するうえでとても便利で安全な診療に欠かせなくなっていますが、一方で入力に時間を要し、患者さんをお待たせすることになりますので、診察に同席し、医師の指示や患者さんの訴えをタイムリーに代行入力しています。

### ●医療文書の作成支援

医師の業務には診察以外にも診断書などの文書作成など、医師でなければできない事務作業が多数ありますが、医師の指示のもと、カルテからのデータ抽出や移記などの補助を行っています。



### ●医療の質向上のための事務作業

診療に係る統計や調査、データの収集・整理など、診療の精度向上や安全な医療の提供のための一翼を担っています。また、全国がん登録などの行政への対応も行っています。

## こんなことを心がけています

日々の診療に接する仕事ですので、専門的な知識を高めることで医師の円滑な診療につながるよう、また、電子カルテには医師が後日確認した際の判断材料となるよう、より多くの情報を入力するなど、医師をサポートすることを介し患者さんのお力に、「縁の下の力持ち」になれるよう努めています。もちろん守秘義務も遵守しています。



次号は『病棟看護』部門へバトンタッチします。お楽しみに！

## 広げよう！！ OKはまゆりネット

8月1日より、病院、医科・歯科診療所、調剤薬局での「OKはまゆりネットカード」の新規発行が可能になりました。

これにより、はまゆりネットの加入者が増え歯科診療や服薬指導等業務支援につながればと期待しています。キーコードの発行伝達までに時間を要したり、依頼に添えないこともあります。少しずつ改善し有効に活用できるよう努めてまいりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。



県立釜石病院 地域医療福祉連携室



## 岩手県立大槌病院

岩手県上閉伊郡大槌町小槌第23地割字寺野1番地1

TEL 0193-42-2121

FAX 0193-42-3148

HP <http://www5.pref.iwate.jp/~ootsuchi/>

### ☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

今年も9/21～23の3日間にわたり大槌まつりが開催され、御神輿を先頭に太神楽、鹿子踊、虎舞などの郷土芸能団体や、各地区の手踊り団体等が町内を練り歩きましたが、「入院中でまつりを見られない患者さんのために」と、わざわざ当院の正面玄関前でご披露いただいた団体も多数あり、普段は静かな当院の前が一般の観客の方なども交え大変にぎわいました。

患者さんにもご満足いただけたようで、そのあたたかい心意気に感謝するとともに、当院が町民のみなさんに守っていただいているんだと改めて感じた3日間でした。

番 号 5号  
発行日 平成30年10月1日  
発 行 岩手県立大槌病院  
地域医療福祉連携室（千葉）  
住 所 大槌町小槌第23地割字寺野1-1  
電 話 0193-42-2121  
F A X 0193-42-3148  
E-Mail EA1016@pref.iwate.jp